

令和7年度（2025年度）

業 務 概 要

伊丹市立男女共同参画センター ここいろ

指定管理者 NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西

目次

I 伊丹市立男女共同参画センターの概要	2
1 設置目的	2
2 センターの愛称	2
3 施設の概要	2
4 管理運営	2
5 センターの組織	3
6 施設の平面図	3
7 施設の内容	5
8 貸出施設（学習室・プレイルーム）の利用	5
9 利用料金	6
II 施設の利用状況	7
1 開館日数	7
2 月別利用状況	7
3 利用区分・施設別件数	8
III 啓発業務と講座等の開催	9
IV 市民活動と交流の支援	23
V 相談事業	25
相談事業実施件数	26
女性のためのカウンセリング相談	27
女性のための法律相談	27
女性のためのチャレンジ相談	30
女性のための悩み電話相談	31
男性のための悩み電話相談	31
セクシュアルマイノリティ相談	32
就労支援相談	32
グループカウンセリング①	33
グループカウンセリング②	33
VI 情報事業	34
1. 図書・情報スペース	34
2. 情報誌「ここいろ」発行	36
3. 就労支援情報コーナー	36
4. ホームページによる情報発信	37
5. SNS による情報発信	37
VII 研修	38

I 伊丹市立男女共同参画センターの概要

1 設置目的

伊丹市立男女共同参画センターは、伊丹市の男女共同参画の拠点施設として、女性を始め多様な市民が、気軽に足を運び、男女共同参画に関し、学び、交流できる場を提供することにより、市民が自ら意識を変え、日々の生活の中で行動を起こして、男女の対等な社会参画と、誰もが自分らしい生き方を実現できる社会の形成を目指して設立されました。女性だけでなく、男女共同参画社会の推進の重要な担い手である男性と事業者の参加促進と、個人の性別、年齢等の属性やライフスタイル、価値観の多様性の尊重への理解促進に配慮して、事業を運営します。

2 センターの愛称

伊丹市立男女共同参画センターの愛称「ここいろ」は、令和元年（2019年）9月15日から10月4日までの期間、市ホームページ、広報紙などで募集し、全国291名の方から計557件の応募のなかから、愛称選考委員会の審査で決定しました。センターが、一人ひとり（ここ＝個々）が自分の色（いろ）を彩ることのできる拠点施設であることを願って名付けられました。

3 施設の概要

- (1) 名称 伊丹市立男女共同参画センター ここいろ
- (2) 所在地 〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前 2-2-2 伊丹商工プラザ 5F
- (3) 所有者 伊丹市
- (4) 運営 指定管理者 NPO 法人 女性と子どものエンパワメント関西
設立 平成12年度（2000年）
- (5) 建物の概要 鉄骨鉄筋コンクリート造
地上6階地下1階建「伊丹商工プラザ」5階部分
- (6) 開設年月日 令和2年（2020年）4月1日

4 管理運営

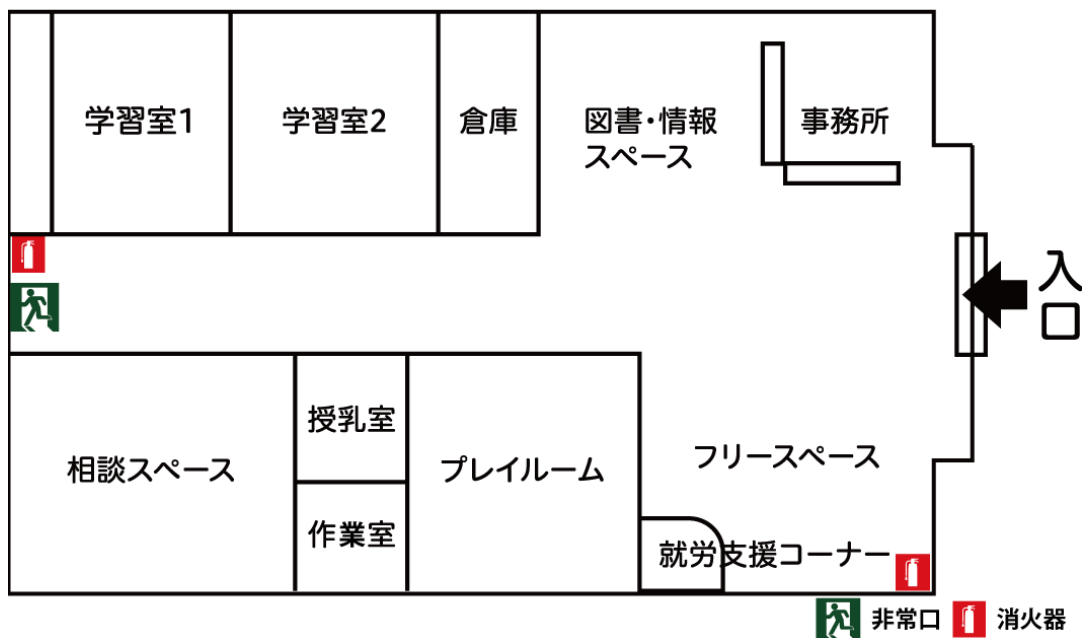
- (1) 開館時間
月曜日～土曜日 9:00～21:00
日曜日 9:00～17:30 月1回 第1日曜（5月は第3日曜）
- (2) 休館日
日曜日（上記開館日除く）祝日
年末年始（12月29日～1月3日）

5 センターの組織

理事長	1人（非常勤）	女性
理事	1人（非常勤）	女性
センター長	1人（常勤）	女性
相談・事業・利用促進担当	1人（常勤）	女性
利用促進・事業担当	1人（非常勤）	女性
事業担当	1人（非常勤）	女性
総務	1人（非常勤）	女性
総務アシスト、情報担当	1人（非常勤）	女性
全体アシスト	1人（非常勤）	女性
アルバイト	2人	女性
アルバイト	2人	男性

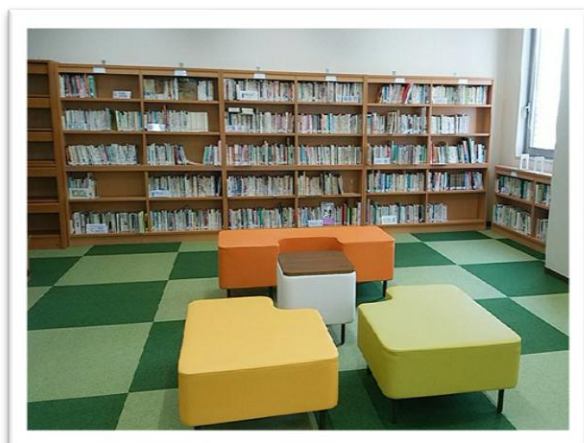
6 施設の平面図

男女共同参画センター 平面図



床面積：606.454 m²（専有部分 399.282 m²、共有部分 207.172 m²）

図書・情報スペース



フリースペース



学習室



プレイルーム



相談室



就労支援コーナー



7 施設の内容

室名	面積 (㎡)	定員 (人)	設備						
			机	いす	WB	S	演台	音響 装置	その他
学習室 1	33	18	9	18	可動 1	—	1	有線 1 (MC1) 無線 1 (MC2)	プロジェクター /DVD デッキ
学習室 2	40	24	12	24	可動 1	常設			
プレイルーム	63	—	—						
作業室	9	—	—						
授乳室	6	—	ベビーベッド 授乳椅子 テーブル スタンドミラー						
相談室 1	17	—	机 1 椅子 4						
相談室 2	17	—	机 1 椅子 4						
待合室 1	4	—	長椅子 1						
待合室 2	4	—	長椅子 1						
図書・情報スペース	55	—	ロビー椅子 3 テーブル 1						
フリースペース	70	—	閲覧テーブル 6 椅子 24 (12)						
就労支援コーナー			長机 2 椅子 4						
事務所	36	—	—						
倉庫	20	—	—						
廊下など		—	—						

WB：ホワイトボード S：スクリーン

8 貸出施設（学習室・プレイルーム）の利用

区分	申請者	申請手続き できる期間	活動内容及び利用料金
非営利 活動	利用登録 団体	3カ月前の 月の初日から 3日前まで	センター登録団体が営利を目的としないで利用するとき。登録団体減免料金を適用。
	<ul style="list-style-type: none"> ・一般グループ ・企業 ・個人 		伊丹市内に居住する 60 歳以上の者又は 60 歳以上の者が主たる構成員である団体が、平日の 9 時から 17 時半において、営利を目的としないで使用するとき。高齢者減免料金を適用。
			伊丹市内に居住する身体障害者（児）、知的障害者（児）又は精神障害者（児）及びその介護者又はこれらの者が過半数である団体が、営利を目的としないで使用するとき。障がい者減免料金を適用。
			市内の方または団体が使用するとき。基本料金を適用。
営利活動			営利目的の場合、使用料は、非営利目的の場合の 1.5 倍

- ・市内料金 申請者個人の住所、法人の所在地が伊丹市内であること。基本料金を適用。
- ・市外料金 市内料金に該当しない方—基本料金の 1.5 倍。

9 利用料金

	区分	午前	午後			午前+午後
	時間帯	9時～12時	13時～15時	15時半～17時半	13時～17時半	9時～15時
学習室1 (定員18人)	基本料金	900	600	600	1,200	1,500
	市外非営利/市内営利	1,350	900	900	1,800	2,250
	市外営利	2,020	1,350	1,350	2,700	3,370
学習室2 (定員24人)	基本料金	1,200	800	800	1,600	2,000
	市外非営利/市内営利	1,800	1,200	1,200	2,400	3,000
	市外営利	2,700	1,800	1,800	3,600	4,500
プレイルーム	基本料金	2,100	1,400	1,400	2,800	3,500
	市外非営利/市内営利	3,150	2,100	2,100	4,200	5,250
	市外営利	4,720	3,150	3,150	6,300	7,870
プロジェクト ター/DVD	基本料金	600	400	400	800	1,000
	市外非営利/市内営利	900	600	600	1,200	1,500
	市外営利	1,350	900	900	1,800	2,250
マイク アンプ	基本料金	600	400	400	800	1,000
	市外非営利/市内営利	900	600	600	1,200	1,500
	市外営利	1,350	900	900	1,800	2,250

	区分	午前+午後	午後+夜間		夜間 (日曜除く)	終日
	時間帯	9時～17時半	13時～21時	15時半～21時	18時～21時	9時～21時
学習室1 (定員18人)	基本料金	2,100	2,100	1,500	900	3,000
	市外非営利/市内営利	3,150	3,150	2,250	1,350	4,500
	市外営利	4,720	4,720	3,370	2,020	6,750
学習室2 (定員24人)	基本料金	2,800	2,800	2,000	1,200	4,000
	市外非営利/市内営利	4,200	4,200	3,000	1,800	6,000
	市外営利	6,300	6,300	4,500	2,700	9,000
プレイルーム	基本料金	4,900	4,900	3,500	2,100	7,000
	市外非営利/市内営利	7,350	7,350	5,250	3,150	10,500
	市外営利	11,020	11,020	7,870	4,720	15,750
プロジェクト ター/DVD	基本料金	1,400	1,400	1,000	600	2,000
	市外非営利/市内営利	2,100	2,100	1,500	900	3,000
	市外営利	3,150	3,150	2,250	1,350	4,500
マイク アンプ	基本料金	1,400	1,400	1,000	600	2,000
	市外非営利/市内営利	2,100	2,100	1,500	900	3,000
	市外営利	3,150	3,150	2,250	1,350	4,500

II 施設の利用状況

1 開館日数

令和7年4月～令和8年3月 304日（定期休館55日 年末年始休館6日）

2 月別利用状況

	施設 営業日 (平日)	施設 営業日 (日曜)	稼働率				来館者数			合計
			学習室 1	学習室2	学習室 1・2	プレイルーム	女性	男性	その他	
4月	25	1	22.1%	14.3%	2.6%	57.1%	1057	496	2	1555
5月	24	1	20.3%	16.2%	4.1%	62.2%	1021	415	1	1437
6月	25	1	24.7%	19.5%	10.4%	59.7%	1184	499	0	1683
7月	26	1	23.8%	38.8%	10.0%	58.8%	1198	765	0	1963
8月	25	1	13.0%	14.3%	6.5%	62.3%	1264	521	0	1785
9月	24	1	21.6%	12.2%	5.4%	58.1%	1265	619	1	1885
10月	26	1	27.5%	27.5%	16.3%	63.8%	1708	671	0	2379
11月	23	1	31.0%	22.5%	11.3%	63.4%	1373	546	1	1920
12月	24	1	20.3%	12.2%	9.5%	58.1%	1141	414	0	1555
1月	23	1	19.7%	11.3%	7.0%	60.6%	1295	577	0	1872
2月	22	1	27.9%	22.1%	13.2%	60.3%	1306	666	0	1972
3月	25	1	23.4%	22.1%	11.7%	57.1%	1649	755	3	2407
年間	292	12	25.0%	21.4%	9.8%	65.7%	15461	6944	8	22413

3 利用区分・施設別件数

	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
学習室 1	事業	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	0	5	125
	登録団体	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	1	0	4	
	貸室・その他	15	12	11	10	5	12	9	11	7	8	7	9	116	
	月合計	15	12	11	11	5	12	9	14	8	9	10	9		
学習室 2	事業	2	4	0	1	1	0	0	0	0	1	0	3	12	95
	登録団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	貸室・その他	7	5	7	22	5	5	9	8	2	2	6	5	83	
	月合計	9	9	7	23	6	5	9	8	2	3	6	8		
学習室 1・2	事業	1	3	5	4	3	3	10	7	4	4	3	3	50	81
	登録団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	貸室・その他	1	0	3	4	2	1	3	1	3	1	6	6	31	
	月合計	2	3	8	8	5	4	13	8	7	5	9	9		
プレイルーム	事業	2	4	5	1	4	3	9	3	3	3	3	3	43	541
	登録団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	貸室・その他	42	42	41	46	44	40	42	42	40	40	38	41	498	
	月合計	44	46	46	47	48	43	51	45	43	43	41	44		
フリースペース、図書・情報コーナー	事業	0	1	0	0	1	1	1	2	1	1	1	2	11	21
	登録団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	相談・その他	1	1	1	0	1	2	0	1	0	0	1	2	10	
	月合計	1	2	1	0	2	3	1	3	1	1	2	4		
相談室 1・2	相談	15	13	17	15	15	14	15	13	15	14	14	16	176	177
	事業（保育）	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	月合計	15	13	17	15	16	14	15	13	15	14	14	16		
合計		86	85	90	104	82	81	98	91	76	75	82	90	0	
(再掲) 利用区分別利用件数															
利用区分別	事業	5	12	10	6	10	7	20	13	9	10	9	11	122	1040
	登録団体	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	1	0	4	
	貸室・その他	65	59	62	82	56	58	63	62	52	51	57	61	728	
	相談	16	14	18	15	16	16	15	14	15	14	15	18	186	
合計		86	85	90	104	82	81	98	91	76	75	82	90	1040	

※むっくむっく件数（プレイルーム）は利用日数 x 2（午前+午後）

Ⅲ 啓発業務と講座等の開催

	内容	日時	定員	申込	参加	保育	
講演会	男女共同参画推進セミナー 男女共同参画講演会	少子高齢社会のカギを握るのは女性と子どもへの支援 人生100年時代の生き方・暮らし方	30 30	31 31	28 26	1 0	
啓発事業	ここいるジェンダー講座①	「女」、「男」だけでない多様な性 リプロと家族(産む・産まない・産めない)と日本の歴史 DVと虐待への提言	25	21 21 21	11 13 11	0 0 0	
	女性学講座(3回)①②⑤	女性の一生 人はどのように生き、どのように去っていくのか 1.女性の一生を歴史的にみる 2.老いについて考え、どう生きるかを考える 3.葬儀と墓について考える	25	31 31 31	25 23 27	0 1 1	
	男性セミナー(3回)④	人と話すのが楽しくなるコミュニケーション講座 1 聴く力の基本を学ぶ 2 共感を深める聴き方 3 聴く力で築く信頼と協力	20	13 13 13	6 9 9	0 0 0	
	就労支援講座(4回)③	働きたい、働き続けたいを応援する！ 1.自分を知ることが始めの一步 2.コミュニケーションとチームワーク 3.「しつもん」で未来を描く	25	18 18 18	14 9 8	3 2 2	
	生き方アップデート講座(5回)②③④⑤⑥	女性のための就労支援セミナー これからのわたしを考える ここいる 鳴く虫音楽会 ～フルートと小さなハーブのひとつとき～(鳴く虫と郷町連携企画) 映画から考えるジェンダー ホームレスを生きる女たち	15	21	16	3	
	メディアリテラシー講座(3回)①②③	映画から考えるジェンダー ふまじめ通信 SNS時代のメディアとジェンダーを考える 1 私とメディア、私たちとメディア 2 マイノリティ市民とメディア 3 SNS時代のニュースと私たち	20	11 11 11	10 6 7	0 0 0	
	自分発見講座(3回)④⑦	臨床美術 クリニカルアート 1 ふたりで描くいろいろな色鉛筆 2 冬色コレクション 3 クリスマスツリーを描く	20	32 32 32	19 18 19	1 3 2	
	子育て支援講座(5回)①②③	概論 スター・ペアレンティングとは・問題を避ける 良い行動を見つける 感情を認める 限度を設ける	20	22 22 22 22	18 14 13 17	2 2 4 5	
	若者対象講座(4回)⑤⑥⑦	限定的スキルを教える まとめ CAPおとなワークショップ CAP子どもワークショップ 働きたくても働けない若者へ 個別相談	20 15 25 4	16 9 4 1	11 8 5 1	1	
	こころとからだ講座(3回)⑦	姿勢体幹トレーニング 1 姿勢体幹トレーニング 2 姿勢体幹トレーニング 3	15	30 35 39	17 18 23	1 0 0	
	事業者対象講座(1回)⑧	事業者とプレ事業者のためのチャレンジ実践講座	20	12	9	1	
	自立促進講座(4回)②③	女性のためのコミュニケーション・ワークショップ 1 エモーショナル・リテラシー、リスニングブロック 2 境界線、他者との距離感を考える 3 こころとからだを使った感情表現(アクションワーク) 4 過去の自分との対話 内観法など	15	24 24 24	15 17 10	2 2 0	
	市民企画講座	ミモザの日	俳句とジェンダー 入門講座	15	12		
			絵本を入口に乳幼児から始めるおうち性教育	親子15組	16		
			薬膳茶ワークショップ	15	20		
			アルテシアさんとジェンダーを学んで誰でも生きやすい社会をつくらう	30	31		
			バルーンアートに挑戦!		27		
			折り紙deあそぼう!		13		
	展示:ジェンダー俳句選他フリースペース利用		215				
	市民活動及び交流	ここいる市民会議 ここサークル ニットカフェ@ここいる 健康カフェ@ここいる	年4回開催 ミーティング		31		
年4回開催				50			
年4回開催				25			

講座、ワークショップ等の開催については、概ね次のテーマで行う。

(①～⑤は必須テーマ)

(年間20講座程度、延べ回数50回程度(最低40回以上)開催)

- ①多様性理解：性別、障がい、国籍等、多様性の尊重について理解し、自分らしい生き方を考える機会を提供する。
- ②男女共同参画：ジェンダー意識の認識、エンパワーメントなど、女性が自立して自分らしく生きるための知識、モチベーション向上させる。
- ③就労・起業支援：女性のライフステージや希望する働き方に応じた、就労、キャリアアップ、起業等による自立へのモチベーション向上を図る。
- ④自立促進：就労等していない女性の就労、キャリアアップ、起業等による自立へのモチベーション向上を図る。
- ⑤DV等予防：DV、ハラスメントについて理解し、その予防と、対応方法を学ぶ
- ⑥若年者対象：主に若年層の女性を対象に、デートDVその他の性的暴力など身近な危険と、その対処方法を学ぶ。
- ⑦健康関連：心、体、性について考える機会を提供する。
- ⑧事業者対象：事業者を対象に、ワーク・ライフ・バランス、女性活躍推進等のための管理職の意識改革や、先進的取り組みの紹介
- ⑨その他男女共同参画推進に関する講座

上記講座等と別途に、市民の企画提案による男女共同参画や女性に関する講座を開催し、男女共同参画の推進に関する市民の主体性の向上を図る。(概ね年3回)

男女共同参画推進セミナー

事業名	少子高齢化社会のカギを握るのは女性と子どもへの支援
事業趣旨	情報誌「こころ」(2024.11)特集で執筆を依頼した森 臨太郎さんを講師に迎え、現在日本において課題である少子高齢化社会についてカギを握るのは女性と子どもへの支援であることの具体的な内容について講演してもらう。講師は岡山大学医学部を卒業後、淀川キリスト教病院などで小児科研修後、オーストラリア、ネパール、英国などで小児科医師として診療に従事。その後、ブレア政権保健医療改革の一環として保健省組織で母子保健・福祉の政策に携われた。国内外の保健医療制度についての研究や政策立案も行っている。少子高齢化社会の戦略、持続可能な少子高齢化社会において、日本の政策で欠けている女性や子どもへの支援についてグローバルな視点での提言を講演してもらう。
対象	テーマに関心のある方
講師	森 臨太郎 (一般社団法人 社会政策コレクティブ・スペース代表)
募集	定員 30 人 申込み 31 人 受講者 28 人(女性 23 人、男性 5 人) 保育 6 人 申込み 1 人 出席 1 人 (女性 1 人)
参加費	無料
開催日時	6 月 7 日 土曜日 14:00~16:00
講座内容	少子高齢化社会において、カギになるのは女性や子どもへの支援であることをグローバルな視点で語ってもらう。

男女共同参画講演会

事業名	人生 100 年時代の生き方・暮らし方 ～性別役割分担と長寿期リスク～
事業趣旨	臨床社会学者で長寿化・高齢者介護問題について一貫して現場の支援者たちと協働するかたちで研究してきた春日 キスヨさんによると、独居・一人暮らしも大変だが、妻の家事能力が衰える中での夫婦 2 人暮らしも大変で、自力で生活が維持できなくなっても「子どもの世話にはなりたくない」と考える団塊の世代が 90 歳に迫る 2035 年には総人口の 13.8% を占める。身体介護の問題だけではなく、これから必要なのは住み慣れた地域で暮らし続けるため、生活支援を制度的に保障することが必要と語る。まだまだ元気と思う間になりゆき任せにしない人生 100 年時代の暮らしの知恵について考えます。
対象	テーマに関心のある方
講師	春日 キスヨ (臨床社会学者)
募集	定員 30 人 申込み 31 人 受講者 26 人(女性 23 人、男性 3 人) 保育 6 人 申込み 0 人
参加費	無料
開催日時	10 月 5 日 日曜日 13:30~15:30
講座内容	人生 100 年時代。まだまだ元気と思う間に「80 歳の壁」「90 歳の壁」が迫ってくる。一人暮らし、夫婦暮らしが増え続ける中で、どこで誰に支えてもらって乗り切るかが、未来のリスクを減らす。成り行き任せにしない暮らしの知恵について考える。

ここいろジェンダー講座

事業名	ここいろジェンダー講座			
事業趣旨	男女共同参画への関心を深め、身近なテーマからジェンダー課題を学ぶ基礎講座。身近で見聞きする疑問や関心をジェンダーの視点で問い直すことで、参加者がいままで意識してこなかったジェンダー観に気づき、性別に関わらず一人ひとりが幸せに安心して暮らせる社会の実現について、自分ごととして捉え考え、アップデートできる機会とする。			
対象	テーマに関心のある方			
募集	定員 25 人 申込み 21 人 (女性 19 人、男性 2 人) 受講者 ①8 人(女性 7 人、男性 1 人) ②13 人(13 女性人、0 男性人) ③11 人(女性 9 人、男性 2 人) (延べ 35 人)			
	保育 6 人 申込み 0 人			
参加費	無料			
開催日時	5 月 17 日～31 日 各土曜日 各 10:00～12:00 全 3 回			
講座内容	内 容		講 師	
	① 5 月 17 日	「女」、「男」だけではない多様な性	桂 容子 (SOGIE シニアネット)	女 10 男 1 他 0
	② 5 月 24 日	リプロと家族 (産む・産まない・産めない) と日本の歴史	田間 泰子 (大阪公立大学名誉教授)	女 13 男 0 他 0
	③ 5 月 31 日	DV と虐待への提言	伊田 広行 (非暴力ルーム・大阪「NOVO」運営者)	女 9 男 2 他 0

女性学講座

事業名	「女性の一生 ～人はどのように生き、どのように去っていくのか～」		
事業趣旨	今年度の女性学講座では、人生 100 年時代と言われる長寿社会で、女性として生きること、エンディングしていくこと、死ぬことを考えます。まずは、女性の一生を歴史的に振り返ります。そして近年長寿時代で、「終活」が流行っている中で、就活とは物を片づけることだけではなく、最期を迎える前に、「老い」をどう生きるか、「死」をどう迎えるか、死後のことを考えることは大切です。自分が縛られている諸々の壁から解放されて最期を迎えるために、何が必要かを考えます。		
対象	テーマに関心のある女性		
講師	源 淳子 (女性学研究者)		
募集	定員 25 人 申込み 31 人 受講者①25 人 ②23 人 ③27 人 (延べ 75 人)		
	保育 6 人 申込み 1 人 出席 ①0 人 ②1 人 ③1 人		
参加費	無料		
開催日時	11 月 5 日～19 日 各水曜日 13:30～15:30		
講座内容	①11 月 5 日	女性の一生を歴史的にみる	
	②11 月 12 日	老いについて考え、どう生きるかを考える	
	③11 月 19 日	葬儀と墓について考える	

男性セミナー

事業名	聴く力で変わる！人と話すのが楽しくなるコミュニケーション講座
事業趣旨	相談の現場において、「他者との会話が苦手で、人間関係がうまくいかない。」「気持ちを解ってくれないと言われ困った。」「アドバイスをしてほしいわけではないと言われ、沈黙してしまった。」「家族との会話がうまくいかない。」などという相談を受ける機会は少ない。今回の講座では、前述のようなコミュニケーションに悩みを抱える方々を対象に、聴き上手になるためのスキルを学び、コミュニケーションを楽しむと同時により豊かな人間関係を構築することを目標としていただけるよう企画した。講師には、長年キャリアコンサルタント（ハローワーク職員）として、多くの人のコミュニケーション・スキル指導に携わって来られた吉田義則さんを迎えた。
対象	テーマに関心のある男性
講師	吉田 善則（キャリアコンサルタント・産業カウンセラー）
募集	定員 20 人 申込み 13 人 受講者①6 人 ②9 人③9 人（延べ 24 人） 保育 6 人 申込み 0 人
参加費	無料
開催日時	7 月 5 日～19 日 各土曜日 各 13:30～15:30 全 3 回
講座内容	①7 月 5 日 聴く力の基本を学ぶ ～まずは相手を知ることから始めよう～ ②7 月 12 日 共感を深める聴き方 ～相手の心に寄り添う聴き手になろう～ ③7 月 19 日 実践！聴く力でつながるコミュニケーション ～聴く力で築く信頼と協力～

就労支援講座

事業名	女性のための就労支援セミナー「働きたい、働きつづけたいを応援する！」					
事業趣旨	総務省統計局が令和 7 年 4 月に発表した労働力調査によると、女性の就業者数は 3098 万人と前年同月に比べ 36 万人の増加となっている。しかしながら、実態は非正規雇用の割合が高く、働きながらも不安を感じている女性は少なくない。また、現在は無職だが、今後、就労を希望をしているので、情報や知識を得たいというような声も聞かれる。そういう現状を踏まえ、今回の講座では、前年度実施の就労支援講座を土台に、アドバンスコースになるような講座を企画実施し、参加者のさらなるエンパワメントをめざす。					
対象	テーマに関心のある方					
募集	定員 25 人 申込み 18 人 受講者 ①14 人 ②9 人 ③8 人（延べ 31 人） 保育 6 人 申込み 3 人 出席 ①3 人（女性 3 人）②③2 人（女性 2 人）					
参加費	無料					
開催日時	1 月 15 日～29 日 各木曜日 各 10:00～12:00 全 3 回					
講座内容	タイトル	講師	女	男	他	
	①1 月 15 日	自分を知ることが始めの一步	尾庭 恵子 (キャリアコンサルタント)	14	0	0
	②1 月 22 日	コミュニケーションとチームワーク		9	0	0
	③1 月 29 日	「しつもん」で未来を描く		8	0	0

事業名	女性のための就労支援セミナー これからのわたしを考える
事業趣旨	ハローワーク伊丹にはマザーズコーナーが設置されており、センターの就労支援相談でも、子どもが大きくなってきたので新しい仕事を見つけない、出産・子育てがひと段落して働きたいが、ブランクがあるためどのように就職活動をしたらよいのか分からない、といった不安を抱える方の相談に専門相談員が対応している。センターの就労支援相談は、ハローワークへ行くにはハードルが高いと感じる方にも、気軽に利用して頂くことが出来るように開設されている。新年度に向けて、これから再就職をめざす女性、仕事と家庭を両立したい方に向けて、就職活動の一步となるようセミナーを実施する。
対象	テーマに関心のある女性
講師	ハローワーク伊丹 マザーズコーナー 就職支援ナビゲーター
募集	定員 15 人 申込み 21 人 受講者 16 人 保育 6 人 申込み 4 人 出席 3 人 (男性 2 人、女性 1 人)
参加費	無料
開催日時	2 月 13 日 金曜日、10:00～12:00
講座内容	・価値観を考える「わがままカード」ワーク ・わたしってこんな人 ・ライフ・キャリアプランシート ・希望条件の整理 ・求人情報の見方 他

生き方アップデート講座

事業名	鳴く虫と郷町連携企画 ここいろ 鳴く虫音楽会 ～フルートと小さなハーブのひととき～
事業趣旨	心理的な回復効果もあると言われる虫の音と、音楽療法にも使われるフルートとハーブの音色の組み合わせで、心も身体も解きほぐされる時間を過ごす。2023 年度・2024 年度開催時の学習室から、会場をフリースペースへ移し、フリースペースに椅子席・図書スペースにソファ席とマット席を設ける。多様な市民を対象とし、小さな子ども連れでも気兼ねなく生の楽器と虫の音色に触れることができ、幅広い世代が気軽に音楽を楽しみ、気分転換・リラックスできる空間・時間を企画する。 2006 年に始まった「鳴く虫と郷町」は、「虫聴き」を現代風にアレンジし、伊丹のまちで虫の音と秋を愛でる 10 日間。街中のさまざまな場所で行われるイベントに加わり、市内公共施設と連携することにより、ここいろを利用したことがない市民への周知効果も期待できる。ここいろが自分らしく過ごせる場所であると知ってもらうきっかけの一つとして、音楽会を開催する。 また、鳴く虫を楽しみながら利用できるフリースペースや図書コーナーの利用を促進する。
講師	行灯社 (ちえみ：フルート、みほ：ハーブ&うた)
募集	定員 50 人 参加者 計 74 人 (大人:46 人[女性 35 人、男性 11 人]子ども:28 人[女性 22 人、男性 6 人]) 保育なし
参加費	無料
開催日時	9 月 10 日 水曜日 16:00～17:00

事業名	映画から考えるジェンダー 映画上映 「ホームレスを生きる女たち」
事業趣旨	センターでは午後5時以降も利用出来る夜間開館をPRし、より多くのセンター利用促進をめざし、ジェンダー視点で選定した映画上映を行っている。情報・図書スペースで所蔵する映画から、「映画から考えるジェンダー」と題して、2025年度は映画上映を2回実施する。
対象	テーマに関心がある人
募集	定員 各25人、保育なし 申込み 29人（女性24人、男性5人） 受講者 24人（女性20人、男性4人）
参加費	無料
開催日時	8月29日 金曜日 18:30～20:00
内容	ホームレスになる割合がもっとも高い50歳以上の離婚、DV、失業などで家を失った10人の女性の人生から見るオーストラリアの女性の貧困問題。

事業名	映画から考えるジェンダー 映画上映 「ふまじめ通信」
事業趣旨	センターでは午後5時以降も利用出来る夜間開館をPRし、より多くのセンター利用促進をめざし、ジェンダー視点で選定した映画上映を行っている。情報・図書スペースで所蔵する映画から、「映画から考えるジェンダー」と題して、2025年度は映画上映を2回実施する。
対象	テーマに関心がある人
募集	定員 25人、保育なし 申込み 19人（女性17人、男性2人） 受講者 13人（女性11人、男性2人）
参加費	無料
開催日時	12月19日 金曜日 18:30～20:00
内容	和歌山県・加太の港町を舞台に、ストレスで心身を病み、辞職して都会を離れた元教師が地域の人々と交流する中でゆるいポッドキャスト番組を配信しながら再生していく。

メディア・リテラシー講座

事業名	SNS時代のメディアとジェンダーを考える					
事業趣旨	メディア・リテラシーとは、メディアから発信される情報を、主体的に読み解き、活用し、発信する能力のことをいう。私たちの周りには情報があふれており、気づかないうちにその影響を受け、意識や行動を誘導されてしまう恐れがある。同様にメディアが描くジェンダーには「女性は家事や育児、男性は仕事」といった固定的な性別役割分業意識に基づいた表現が多く見られ、私たち受け手を誘導する意図的なメッセージが含まれていることもある。メディアの情報をうのみにせず、批判的に主体的に読み解く力を身につけるために、メディア・リテラシー力を高めることが必要である。					
対象	テーマに関心のある方					
講師	NPO 法人 FCT メディア・リテラシー研究所					
募集	定員 20 人 申込み 11 人（女性 8 人、男性 3 人）					
	保育 6 人 申込み 0 人					
参加費	無料					
開催日時	11月15日～29日 各土曜日 各13:30～15:30 全3回					
講座内容	日	内容	講師	女	男	他
	① 11月15日	私とメディア、私たちとメディア メディア・リテラシー入門	田島 知之	7	3	0
	② 11月22日	マイノリティ市民とメディア 女性たちの声はどう構成されるのか	西村 寿子	5	1	0
	③ 11月29日	SNS時代のニュースと私たち 声なき声を聴くために	高橋 恭子	6	1	0
			計	18	5	0

自分発見講座

事業名	脳が喜ぶ・心が笑う 臨床美術（クリニカルアート）			
事業趣旨	臨床美術（クリニカルアート）とは、絵やオブジェなどの作品を楽しみながらつくることによって脳を活性化させ、認知症の症状を改善するために開発された。作品をつくる際は、単に「見る」だけでなく、触ったり、匂いを嗅いだり、味わったり、音楽を聴いたりしながら、手を動かすことで全身の感覚を刺激する。臨床美術士とのコミュニケーションの中で「ほめられる」「共感を得る」ことの喜びを感じる。美術には、脳を活性化させる力が、心にゆとりを与える力がある。宝塚市でアート教室を開き臨床美術士として活躍する坂本恭子さんを迎えて、すべての人々が健康で心豊かな社会づくりをめざす。			
対象	テーマに関心のある方			
講師	坂本 恭子（ランタン工房/臨床美術士）			
募集	定員 20 人 申込み 32 人 受講者①19 人（女性 18 人、男性 1 人） ②18 人（女性 16 人、男性 2 人） ③19 人（女性 18 人、男性 1 人） <延べ 56 人>			
	保育 6 人 申込み 3 人 出席①1 人（女性 1 人） ②3 人（女性 1 人、男性 2 人） ③2 人（女性 1 人、男性 1 人）（延べ 6 人）			
参加費	無料			
開催日時	12 月 3 日、12 月 10 日、12 月 17 日 各水曜日 10:00～12:00			
講座内容	日	内 容	参加	保育
	① 12 月 3 日	ふたりで描くいろいろ色鉛筆	19	1
	② 12 月 10 日	冬色コレクション	18	3
	③ 12 月 17 日	クリスマスツリーを描く	19	2
	合 計		56	6

子育て支援講座

事業名	スター・ペアレンティング講座 ～たたかず、甘やかさず、子育てする方法～		
事業趣旨	スター・ペアレンティングとは親子間、子ども同士で起こる問題解決プログラムである。子どもの発達段階と気質に合わせながら、スター・ペアレンティングの4つの段階と、5つのスキルを使い、問題を解決する。子育て中はイライラし、孤立しがちだが、ペアレンティング（親のあり方）を学び、親と子の関係を円滑にしていく。		
対象	子育て中の方、子どもに関わるおとな 20人		
募集	定員 20人 申込み 22人（女性 20人、男性 2人） 受講者 ①18人(女性 16人男性 2人) ②14人(女性 13人男性 1人) ③13人(女性 13人)④17人(女性 16人、男性 1人)⑤16人(女性 15人男性 1人) <延べ 78人>		
	保育 6人 申込み 6人 出席 ① 2人 ② 2人 ③ 4人 ④ 5人 ⑤ 4人 延べ17人		
参加費	無料		
開催日時	9月22日～10月27日 各月曜日 10:00～12:00 全5回		
講座内容	開催日	内容	講師
	① 9月22日	概論 スター・ペアレンティングとは問題を避ける	竹下 郁代
	② 9月29日	良い行動を見つけ出す	竹下 郁代
	③ 10月6日	感情を認める	奥平 恭子
	④ 10月20日	限度を設ける	奥平 恭子
	⑤ 10月27日	新しいスキルを教える・まとめ	奥平 恭子

若者対象講座

事業名	3歳からのCAPワークショップ	
事業趣旨	CAP (Child Assault Prevention) とは、子どもが暴力から自分を守るための人権教育プログラムである。今回は、3歳から就学前の子どもを対象とし、人形劇などを交えて生きるために必要な3つの権利(安心・自信・自由)を教え、いじめや虐待、誘拐などの子どもへの暴力に対してどのように対応するかを一緒に考え、自分で自分を守る力を身につける。同時に大人ワークでは子どもを孤立させないために、子どもの内なる力を引き出すこと(エンパワメント)の重要性や、子どもをとりまく暴力について知り、子どもへの対応の仕方等の知識を深める。	
対象	こどもワークショップ: 3歳から就学前の子ども おとなワークショップ: 大人	
講師	NPO 法人 女性と子どものエンパワメント関西スタッフ	
募集	定員 大人: 20人 子ども: 15人	
	申込み 大人: 16人 (女性 11人、男性 5人) 子ども: 9人 (女性 3人、男性 6人) 受講者 大人: 11人 (女性 9人、男性 2人) 子ども: 8人 (女性 2人、男性 6) 計 19人 保育 6人 申込み 2人 出席 1人 (男性 1人)	
参加費	無料	
開催日時	8月3日 日曜日 14:00~16:00	
講座内容	おとなワークショップ (学習室1・2)	「CAP (子どもへの暴力防止プログラム) -子どもの力を引き出すプログラムについて-」講師: 川崎 眞美、奥平 恭子
	こどもワークショップ (プレイルーム)	「子どもワークショップ あなたに」 講師: 辰巳 ゆう子、應地 由起英

事業名	働きたくても働けない若者へ
事業趣旨	宝塚若者サポートセンターによると、開所当初の2013年は男性の方が女性の2倍の利用者であったが、2018年は女性の方が多くなった。利用対象者は20代と30代が約90%を占めている。2020年度からは「就職氷河期世代支援プログラム」の一貫として利用対象者が49歳までに拡大され、40代の利用者も増えているという。働く意欲があっても行動できずに悩む若者たちがいる。午前は支援の経験豊富な臨床心理士を講師に迎え、特に精神的な理由にスポットをあて、社会復帰に向けて現状と課題、課題解決の策を考え、午後は当事者・保護者・支援者を対象に個別相談を行う。
対象	就職に悩む若者（15歳から49歳）やその保護者、支援機関の関係者 25人 個別相談 4組
講師	岡崎 剛（個別相談）藤田 かおり
募集	定員 講義 25人 個別相談 4人 申込み 講義:4人（女性3人、男性1人） 個別相談:1人（女性1人） 受講者 講義:5人（女性4人、男性1人） 個別相談:1人（女性1人）
参加費	無料
開催日時	2026年2月1日 土曜日 講義 10:00～12:00 個別相談 13:00～15:00
講座内容	高校卒業者100人のうち、就職できなかつたり、何らかの事情で離職を経験する人は60人にも及ぶという。これらが個人や家族の問題ではなく社会の問題であることを解き明かし、必要な支援について学ぶ。

こころとからだ講座

事業名	姿勢体幹トレーニング					
事業趣旨	長い人生で健康を適切に管理・改善するためには、正しい知識や情報も大切であり、身体の健康は心の健康にも繋がる。自分の身体と向き合う時間を持ち、10年先まで「動きたくなくなる身体」をめざして、大切な水分補給の方法など栄養学も交えながら、理学療法士より不調を解消する「正しい姿勢」や日々の体の使い方を学び、屋内でも出来る年齢制限なしの姿勢体幹トレーニングを行う。					
対象	テーマに関心のある方					
講師	石山 節子（理学療法士、あるくら歩行研究所代表）					
募集	定員 各 15 人 申込み①30 人（女性 28 人、男性 2 人）②35 人（女性 32 人、男性 3 人） ③39 人（女性 35 人、男性 4 人）					
	保育 各 6 人 申込み①1 人②0 人③0 人 出席①1 人(男性 1)					
参加費	無料					
開催日時	①8月27日(水) ②10月5日(日) ③2026年1月28日(水)10:30~12:00 全3回					
講座内容	日時	内容	女性	男性	その他	計
	①8月27日(水)	・熱中症予防と正しい水分補給 ・カラダを伸ばす姿勢体幹トレーニング、他	16	1	0	17
	②10月5日(日)	・膝痛ケア ・まっすぐ歩く姿勢体幹トレーニング、他	16	2	0	18
	③1月28日(水)	・冬の“かくれ脱水”予防、冷え取り ・自宅でできる姿勢体幹トレーニング、他	19	4	0	23
	参加者 合計			51	7	0

事業者対象講座

事業名	事業者とプレ事業者のためのチャレンジ実践講座					
事業趣旨	センターには長く続けられるスキルを身に付け、個人事業主や起業を目指したいという相談がよく寄せられる。一方事業者にとっては少子高齢社会において女性や高齢者の人材活用は、人手不足が深刻化する中で、重要な課題となっている。職場環境の整備、助成金の活用など、女性や高齢者が活躍できる環境を整えることで、柔軟な働き方を望む人材の獲得、定着を促す。また、雇用関係ではなく、契約関係で仕事をするにより、必要な情報も提供する。個人事業主や起業を目指す人にとっても、企業にとっても貴重なインサイトを開示する実践×共創講座。					
対象	事業者、起業や個人事業主、副業に関心がある人 20人					
講師	山本 美紀					
募集	定員 20 人 申込み 12 人 受講者 9 人（女性 8 人、男性 1 人）					
	保育 6 人 申込 2 人 出席 1 人（女性 1 人）					
参加費	無料					
開催日時	2026年2月5日 木曜日 14:00~16:00					
講座内容	物価高、人口構造、終身雇用や年金など時代の変化の下、私達を取り巻く環境も変わり、多様な自立し働き方・生き方の選択肢を持つことが強みとなっている。様々な働き方、利用できる制度、今自分にできることを知り、自分の目指す生き方に向けて少しずつ実践していくための道筋を考える。					

自立促進講座

事業名	女性のためのコミュニケーション・ワークショップ			
事業趣旨	ライフスキルと言われる「コミュニケーション・スキル」の獲得には感情力をつける必要がある。そのための手法として感情について学ぶ（エモーション・リテラシー）やリスニング・ブロック（聴くのを妨げるものを理解する）、また自己の尊厳の要である「境界線」を知ること、そして感情表現は非言語もあることを知ることは有効である。人生で最も悩みの深い人間関係を円滑にするためのコミュニケーション・スキルをワークを通して学ぶ機会にしたい。			
対象	テーマに関心のある女性			
募集	定員 15 人 申込み 24 人（女性 24 人） 受講者①15 人②17 人③10 人④20 人（延べ 62 人）			
	保育 6 人 申込み 2 人（女性 2 人） 出席①2 人 ②2 人 ③0 人 ④2 人			
参加費	無料			
開催日時	6 月 5 日～26 日 各木曜日 各 10:00～12:00 全 4 回			
講座内容	タイトル		講師	
	① 6 月 5 日	エモーショナル・リテラシー リスニング・ブロック	田上 時子	女 15 男 0 他 0
	② 6 月 12 日	境界線・他者との距離感を考える	井山 里美	女 17 男 0 他 0
	③ 6 月 19 日	こころとからだを使った感情表現 (アクション・ワーク)	川崎 眞美	女 10 男 0 他 0
	④ 6 月 26 日	過去の自分との対話 内観法など	田上 時子	女 20 男 0 他 0

ここいろミモザの日

事業名		ここいろ ミモザの日					
事業趣旨		伊丹市立男女共同参画センター「ここいろ」を広く市民に周知し、男女共同参画社会実現のための啓発、市民ネットワークや登録グループ、ボランティアグループ等との協働、交流を図る。国連が制定した国際女性デー（3月8日）に合わせて、「ここいろ ミモザの日」として、講座・イベント・展示を実施する。					
開催日時		2026年 3月1日 日曜日 10:00～16:00					
参加者数		346人					
時間・会場	区分	イベント名	講師・グループ名等	参加者	女性	男性	その他
10:00～12:00 学1・2	ミモザの日企画	俳句とジェンダー 入門講座	杉田 菜穂	12	10	2	0
10:00～11:30 プレイルーム	市民企画	絵本を入口に 乳幼児から始める おうち性教育	子育て支援グループ きらきら星	16	11	5	0
12:30～13:30 学1・2	(伊丹市)	伊丹市男女共同参画施策市民ワ ンボード報告会	伊丹市男女共同参 画施策市民ワ ンボード	12	7	4	1
12:00～14:00 プレイルーム	市民企画	薬膳茶ワークショップ	山田 友佳	20	18	2	0
11:00～16:00 図書スペース	市民企画	バルーンアートに挑戦！！	ふわふわアート・チェリー	27	17	10	0
11:00～14:00 フリースペース	市民企画	折り紙 de 遊ぼう♪	井口 信夫	13	10	3	0
14:00～16:00 学1・2	ミモザの日企画	アルテイシアさんとジェンダーを 学んで誰もが生きやすい社会をつ くろう	アルテイシア	31	26	4	1
フリースペース		ぶちばとー@ここいろ 11:00～14:00 ジェンダー俳句選 10:00～16:00	ぶちばとー 俳句結社うぐいす伊丹ス ワン句会	215	157	58	0
合計				346	256	88	2

IV市民活動と交流の支援

事業名	健康カフェ@ここいろ・ニットカフェ@ここいろ							
事業趣旨	誰もが自分らしく生きられる社会づくりの拠点として2020年4月に伊丹市立男女共同参画センターここいろが開設され、市民活動や子育てグループ等の活動拠点として集える施設になるよう、気軽にお茶を飲みながら話し合えるカフェ形式の「ここいろカフェ」を実施してきた。今年度も、センターが広く市民に認知され、気軽に集い、語り合える場所となるよう、「ここいろカフェ」を実施する。							
対象	テーマに関心のある方 各回10人							
ファシリテーター	①②西川やすこ(気功講師)③④⑥⑦元見 三郎(元市内有名手芸店店主)、吉川 順子 ⑤⑧前田綾子(薬剤師)							
参加費	無料							
保育	なし(子ども連れの参加可)							
開催日時	5月18日(日)、8月30日(土)、10月4日(土)、11月1日(土)、11月17日(月)、12月6日(土) 2026年 1月10日(土)、2月9日(月) 全8回							
内 容	日 時	テ ー マ	申込	参加	女	男	他	子
	① 5月18日(日) 10:30~12:00	健康カフェ@ここいろ ①	13	8	7	1	0	0
	② 8月30日(土) 10:30~12:00	健康カフェ@ここいろ ②	17	4	4	0	0	0
	③ 10月4日(土) 13:00~15:00	ニットカフェ@ここいろ ①	15	13	13	0	0	0
	④ 11月1日(土) 13:00~15:00	ニットカフェ@ここいろ ②	21	13	13	0	0	0
	⑤ 11月17日(月) 10:30~12:00	健康カフェ@ここいろ ③	11	8	6	2	0	0
	⑥ 12月6日(土) 13:00~15:00	ニットカフェ@ここいろ ③	21	12	12	0	0	0
	⑦ 1月10日(土) 13:00~15:00	ニットカフェ@ここいろ ④	21	12	12	0	0	0
	⑧ 2月9日(月) 10:30~12:00	健康カフェ@ここいろ ④	13	5	3	2	0	0
		計	132	75	70	5	0	0

事業名	ここいろ市民ネット会議 ここサークル
事業趣旨	令和4年度に発足した年齢、性別を問わず、個人や団体・グループ間で、情報交換や交流を図る男女共同参画のネットワーク会議
対象	ネットワークメンバーとここいろに関心のある方
募集	参加者 ①8人(女性6、男性2)②4人(女性2、男性2)③10人(女性7、男性2、その他1) ④9人(女性:6、男性2、その他1)
	保育 なし
参加費	無料
開催日時	①4月6日②7月6日③11月2日(日)2026年④1月17日(土)10:00~11:30
内容	(1)センター事業へのフィードバック 意見・要望 事業提案 (2)ジェンダー課題についてのフリーディスカッション

事業名	女性に対する暴力をなくす運動 ここいろパープルリボンツリー メッセージ募集・メッセージツリー展示	
事業趣旨	DV(ドメスティック・バイオレンス)や、家庭内や個人的な関係において行われるため、潜在化しやすい傾向がある。配偶者から何らかの被害を受けたことのある女性のうち、約4割はどこにも、誰にも相談していなかったことが内閣府調査で明らかになっている。DVや性暴力、ストーカー行為など女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するもので、いかなる理由があっても許されるものではない。「女性に対する暴力をなくす運動」への周知・理解を深めるため、DVや性暴力のない社会に向けて、一言メッセージの募集、メッセージツリーの展示を行う。併せて、パープルリボンしおりを作成・配布し、啓発活動を行う。(パープルリボンは、女性に対する暴力をなくす運動のシンボルである。)	
内容	日程・期間	内容
	11月1日~11月25日	メッセージ募集(窓口、HP、Facebook、Instagramで受付)
	11月12日~12月25日	パープルリボンしおり配布(フリースペース、受付) パープルリボン・メッセージツリー展示(フリースペース)

V 相談事業

家制度や社会的制度・慣習などの中で、女性は自分の人生を夫など他者に委ねざるを得なかったという歴史がある。今なお続く固定的性別役割分業に基づく社会通念や価値観によって、女性は生きにくい状況にある。これは個人の問題でなく、女性共有の悩みであると同時に社会的な問題でもある。その中で女性が自らの悩みを主体的に解決しエンパワメントするためにサポートすることを目的とし、相談事業を運営する。

1 女性のための相談

- (1) 女性のためのカウンセリング 相談時間 1人50分
実施日 第1～4火曜日 10:00～14:00 第2・第4金曜日 16:00～20:00 ※一時保育つき
女性相談員
- (2) 女性のための悩み電話相談
実施日 毎週月曜日、第1日曜日 10:00～14:00
直通電話 072-781-5531
女性相談員
- (3) 女性のためのチャレンジ相談 相談時間 1人50分
実施日 毎月第2木曜日(原則) 10:00～14:00 ※一時保育つき
女性相談員
- (4) 女性のための法律相談 相談時間 1人45分
実施日 毎月第4土曜日(原則) 10:00～13:00 ※一時保育つき
相談員 弁護士(女性)

2 男性のための悩み電話相談

実施日 毎月第1土曜日(原則) 15:00～18:00
直通電話 072-781-5532

3 セクシュアルマイノリティ相談

- (1) 電話相談 実施日 第1・第3金曜日 15:00～18:00
直通電話 072-767-1012
- (2) メール相談 随時受付



4 就労支援相談 相談時間 1人50分

実施日 偶数月…第4金曜日、奇数月…第2水曜日・第4金曜日(原則) 9:00～12:00
相談員 ハローワークマザーズコーナー職員

5 グループカウンセリング 6回 1セット 年2回

4月23日、30日、5月7日、14日、21日、28日 各水曜日 10:00～12:00

「発達障がいのある家族との向き合い方」

9月24日、10月1日、8日、15日、22日、29日 各水曜日 10:00～12:00

「母を重たく感じている人へ」

相談事業実施件数

月別相談件数集計表

月	カウンセリ ング		女性電話		法律		チャレンジ		男性電話		セクシュア ルマイノリ ティ		合計	
	回数	件数	回数	件数	回数	件数	回数	件数	回数	件数	回数	件数	回数	件数
4月	6	22	5	12	1	1	1	2	1	2	2	3	16	42
5月	5	18	3	11	1	1	1	4	1	2	2	7	13	43
6月	6	24	6	14	1	3	1	2	1	2	2	4	17	49
7月	6	20	4	9	1	1	1	1	1	4	2	1	15	36
8月	6	20	4	8	1	4	1	4	1	8	2	4	15	48
9月	5	13	5	12	1	3	1	3	1	0	2	1	15	32
10月	6	20	4	7	1	4	1	3	1	3	2	5	15	42
11月	6	19	3	9	1	4	1	1	1	2	2	5	14	40
12月	6	23	5	13	1	2	1	1	1	1	2	6	16	46
1月	6	21	4	12	1	3	1	2	1	1	1	1	14	40
2月	6	22	4	3	1	3	1	4	1	2	2	3	15	37
3月	6	20	6	15	1	4	1	1	1	3	1	2	16	45
合計	70	242	53	125	12	33	12	28	12	30	22	42	181	500

女性のためのカウンセリング相談

事業名	女性のためのカウンセリング
事業趣旨	生きていく上で直面するさまざまな悩みや迷いなどの気持ちに寄り添い、自身の力を大切にしながら、次の一步を踏み出すサポートをする。
対象	家庭や職場、ライフステージ等における悩みを持つ女性
広報等	市広報・HP・SNS・相談案内パンフレット・配架チラシ・情報誌ここいろ
参加費	無料
開設日時	令和7年(2025年)4月～令和8年(2026年)3月 第1～4火曜日 10:00～、11:00～、12:00～、13:00～ 第2・4金曜日 16:00～、17:00～、18:00～、19:00～ (各50分)
利用状況	利用件数 242件 (詳細は別表)

年代別
(実人数)

年代	人数	保育
10代	3	
20代	6	
30代	17	7
40代	17	3
50代	19	
60代	10	
70代	6	
80代	1	
計	79	10

相談内容【初回カードより】
(複数回答あり)

相談内容	件数
自分の生き方	16
家庭の問題	14
パートナー	20
DV	3
仕事	9
人間関係	5
暮らし	3
心とからだ	11
その他	1

情報入手先【初回カードより】
(複数回答あり)

媒体	人数
市報	5
情報誌	2
チラシ	3
HP	6
紹介	10
利用者から	4
知人から	3
過去利用	0
その他	3
不明	1

女性のための法律相談

事業名	女性のための法律相談
事業趣旨	法律の知識が必要な問題に女性の視点にたった弁護士が対応する。
対象	離婚や女性に対する暴力等法的な問題を抱える女性
広報等	市広報・HP・SNS・相談案内パンフレット・配架チラシ・情報誌ここいろ
参加費	無料
開設日時	令和7年(2025年)4月～令和8年(2026年)3月 毎月第4土曜日 10:00～、10:45～、11:30～、12:15～ (各45分)
利用状況	利用件数 33件 (詳細は別表)

年代別実人数

年代	人数	保育
20代	1	
30代	8	6
40代	11	3
50代	4	
60代	4	
70代	4	
80代	1	
不明	0	
計	33	9

相談内容

内容	件数
離婚	21
DV 身体的	3
DV 精神的	16
DV 経済的	12
DV 性的	0
DV 社会的	0
夫婦間	4
男女間	0
セクハラ	0
労働	1
家庭内暴力	0
刑事問題	0
その他	7

情報入手先（延べ人数）

媒体	人数
市報	2
情報誌	2
チラシ・パンフ	5
HP	5
紹介	8
利用者から	0
知人から	1
過去利用	0
その他	0
不明	11

案内先

案内先	人数
法律	8
家裁	13
警察	1
その他	0

法律相談主題分類結果(件数はのべ)

			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
項 目	1	離婚	1	1		1	3	2	2	3	1	2	2	3	21
	2	夫婦間 (事実婚含む)			1				1		1	1			4
	3	男女間 (元夫・同性 パートナー含む)													0
	4	セクハラ													0
	5	労働					1								1
	6	家庭内暴力													0
	7	刑事問題													0
	99	その他			2			1	1	1			1	1	7
合 計			1	1	3	1	4	3	4	4	2	3	3	4	33
DVに関する 相談の場合	1	身体的	1				1					1			3
	2	精神的	1		1	1	2	2	1	1	1	3		3	16
	3	経済的	1		1	1	2			1	1	3	1	1	12
	4	性的													0
	5	社会的													0
	6	その他													0
	99	不明													0
合 計			3	0	2	2	5	2	1	2	2	7	1	4	31
DVに関する相談件数 (人数)			1	0	1	1	2	2	1	1	2	3	1	3	18

女性のためのチャレンジ相談

事業名	チャレンジ相談
事業趣旨	再就職や起業、働き方の見直し、地域活動など新たに何かを始め、チャレンジする女性の不安を解消し、各人に応じた適切な支援につなげることを目的として相談を行う。
対象	再就職や起業などを希望する女性
広報等	市広報・HP・SNS・相談案内パンフレット・配架チラシ・情報誌ここいろ
参加費	無料
開設日時	令和7年(2025年)4月～令和8年(2026年)3月 第2木曜日 10:00～、11:00～、12:00～、13:00～ (各50分)
利用状況	利用件数 28件(詳細は別表)

年代			相談内容(延人数)		情報入手先(延人数)		対応(延人数)	
年代	人数	保育	内容	件数	媒体	人数	内容	人数
20代	2	1	再就職	8	HP	6	傾聴	28
30代	12	5	転職	11	チラシ	14	助言(自己分析)	28
40代	5		起業	15	広報	2	助言(意思決定)	28
50代	6		地域活動	1	知人	0	情報提供	28
60代	2		ボランティア	0	紹介	3		
70代	0		自己発見	26	相談	2		
不明	1		資格	4	その他	2		
計	28	6	その他	5	不明	1		

女性のための悩み電話相談

事業名	女性のための悩み電話相談
事業趣旨	生きていく上で直面するさまざまな悩みや迷いなどの気持ちに寄り添い、自身の力を大切にしながら、次の一步を踏み出すサポートをする。
対象	家庭や職場、ライフステージ等における悩みを持つ女性
広報等	市広報・HP・SNS・相談案内パンフレット・配架チラシ・情報誌ここいろ
参加費	無料
開設日時	令和7年(2025年)4月～令和8年(2026年)3月 毎週月曜・第1日曜 10:00～14:00
利用状況	利用件数 125件

男性のための悩み電話相談

事業名	男性のための悩み電話相談
事業趣旨	男性の気持ちを受け止め、孤独をやわらげ、自尊感情の回復をサポートする。
対象	家庭や職場、ライフステージ等における悩みを持つ男性
広報等	市広報・HP・SNS・相談案内パンフレット・配架チラシ・情報誌ここいろ
参加費	無料
開設日時	令和7年(2025年)4月～令和8年(2026年)3月 毎月第1土曜日 15:00～18:00
利用状況	利用件数 30件
担当者 所見	10代～20代の相談は、家族内や身体についての悩み、仕事関係など。30代～50代では、夫婦関係など対人関係での相談が主であった。相談には至らない電話2件、無言が7件。
展望	相談経路はインターネットを通じてが多いが、カードやパンフレットで情報を得た方もおられる様子。男性は「相談」へ辿り着くまでの壁が女性より高い傾向ではあるが、ここいろに男性の生きづらさを受け止める相談があるということが少しずつ周知されてきている。どこで相談したら良いか分からないという方にも届くよう今後も様々な広報活動を続けていきたい。

セクシュアルマイノリティ相談

事業名	セクシュアルマイノリティ相談
事業趣旨	からだの性とこころの性、性の表現のあり方などセクシャリティの悩みについての専門家によるサポート。
対象	セクシャリティの悩みを持つ当事者、友人、家族、教師など
広報等	市広報・HP・SNS・相談案内パンフレット・配架チラシ・情報誌ここいろ
参加費	無料
開設日時	令和7年（2025年）4月～令和8年（2026年）3月 第1・第3金曜 15:00～18:00
利用状況	利用件数 42件

就労支援相談

事業名	就労支援相談
事業趣旨	出産や子育てなどで仕事をしていない女性の就職、再就職をハローワーク伊丹マザーズコーナー職員がサポートする。
対象	就職を希望する女性
広報等	市広報・HP・SNS・相談案内パンフレット・配架チラシ・情報誌ここいろ
参加費	無料
開設日時	令和7年（2025年）4月～令和8年（2026年）3月 偶数月…第4金曜日、奇数月…第2水曜日 ・ 第4金曜日 9:00～、10:00～、11:00～（各50分）
利用状況	利用件数 21件

グループカウンセリング①

事業名	母を重たく感じている人へ
事業趣旨	大人になっても、母がどう思うかが気になってしまう。母の存在をしんどいと感じる。母の存在に縛られ生きづらさを感じたり、様々な悩みの背景になることも多い母娘の関係。同じような悩みや思いを感じている女性達と出会い、「娘」という立場の人同士で母娘関係についてグループカウンセリングで語り合う。 そして、自分らしく人生を生きるためにはどうしたらいいのか、ひとりでは得られない“気づき”や自分の中にある“力”にたどり着けることをめざす。 (グループカウンセリングでは、同じ問題を持つ人たちがお互いの体験や気持ちを話し合い、カウンセラーが進行役・ファシリテーターとして入る。)
対象	テーマに関心のある女性
講師	荒木 美恵 (臨床心理士、公認心理師)
募集	定員 10 人 申込み 12 人 受講者 ①9 人 ②10 人 ③9 人 ④9 人 ⑤7 人 ⑥9 人 (延べ 53 人) 保育 6 人 申込み 1 人 出席 ①1 人 ②1 人 ③1 人 ④1 人 ⑤1 人 ⑥1 人 (延べ 6 人)
参加費	無 料
開催日時	①9 月 24 日 ②10 月 1 日 ③10 月 8 日 ④10 月 15 日 ⑤10 月 22 日 ⑥10 月 29 日 水曜日 各 10 時～12 時 [全 6 回]

グループカウンセリング②

事業名	発達障がいのある家族との向き合い方
事業趣旨	一緒にいても安心できずストレスを感じる…相手のことを理解したいが、関わり方に悩みどう対応すればいいかわからない…相手は私の気持ちを理解しようともしてくれない…など、コミュニケーションがうまくいかない家族 (発達障がいの診断・未診断を問わず) との生活。状況を周りに理解してもらえず、寂しさや孤独を抱え込みながら、ひとりでがんばり過ぎて苦しくなってしまう。同じような悩みや思いを感じている女性達と出会い、自分らしく人生を生きるためにはどうしたらいいのか、そしてひとりでは得られない“気づき”や自分の中にある“力”にたどり着けるよう、グループカウンセリングで語り合う。 (グループカウンセリングは、同じ問題を持つ人たちがお互いの体験や気持ちを話し合い、カウンセラーがファシリテーターとして入る。)
対象	テーマに関心のある女性
講師	荒木 美恵 (臨床心理士、公認心理師)
募集	定員 10 人 申込み 8 人 受講者 ①7 人 ②6 人 ③4 人 ④4 人 ⑤4 人 ⑥4 人 (延べ 29 人) 保育 6 人 申込み 2 人 出席 ①2 人 ②2 人 ③2 人 ④2 人 ⑤2 人 ⑥2 人 (延べ 12 人)
参加費	無 料
開催日時	①4 月 23 日 ②4 月 30 日 ③5 月 7 日 ④5 月 14 日 ⑤5 月 21 日 ⑥5 月 28 日 各水曜日 10:00～12:00 全 6 回

VI 情報事業

1. 図書・情報スペース

蔵書総数（うちDVD 40本）	2,708
図書貸出冊数（令和7年度）	1,365
図書利用者登録数（令和8年3月31日現在）	515
貸出利用者数（延べ 令和7年度）	627

＜ 貸出図書資料及び利用者の傾向 ＞

カテゴリー貸出順位

順位	カテゴリー
1	K 芸術・表現・コミック
2	L 文学・ノンフィクション・児童文学
3	M 絵本
4	B 男女の自立・共生・心理
5	Z 雑誌
6	I 子ども・教育
7	H こころ・からだ・性
8	D 女性論・フェミニズム
9	G 結婚・家族
10	F 労働・職業
11	J 高齢社会
12	E 女性と社会・IT
13	C 女性史・世界の女性
14	A 基本資料・参考図書

貸出回数ベスト10 一般書

順位	タイトル
1	C 線上のエリア
2	カフネ
3	男性育休の社会学
4	北欧時間 世界一幸せな国の人たちが教えてくれたこと
5	北欧の幸せな社会のつくり方
6	自家製はエンタメだ
7	カウンセラーはこんなセルフケアをやってきた
8	BUTTER
9	一生困らない自由を手に入れるお金の教室
10	料理家村上祥子式食べて生きのびる食べ力

< 収集資料 >

(1) 図書・DVD・雑誌

年6回の図書選書、および 随時購入、図書 165 冊、定期購読雑誌 6 誌等、ジェンダー視点のある図書資料を追加した。

(2) テーマ展示

令和7年度	図書・情報 展示コーナー
4	若年層の性暴力防止月間
5	こころとからだのリセット
6	男女共同参画週間
7	女性の貧困
8	母娘問題
9	鳴く虫と郷町
10	国際ガールズデー
11	女性に対する暴力をなくす運動
12	メディアとジェンダー
1	心身を休める
2	就労支援
3	国際女性デー

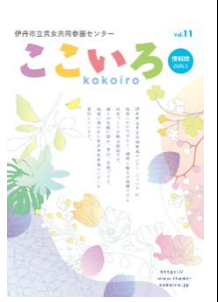



2. 情報誌「ここいろ」発行

体裁： A4版 8ページ カラー

発行部数： 2000部

発行回数： 年2回

	巻号	発行月	特集
	第11号	5月	寄稿「どこへ行く?! 少子化と生殖補助技術と家族のゆくえ」 大阪公立大学名誉教授 田間 泰子さん
	第12号	11月	寄稿「～チャレンジ相談から見えてくるもの～ 女性の人生の転機における困難」 女性のための相談室もくもく 共同代表 中野 冬美さん

3. 就労支援情報コーナー

就労支援コーナー横に就労支援情報コーナーを設け、情報提供に努めた。

〈 提供内容等 〉

ハローワーク伊丹から定期的に提供される求人情報、女性就労・労働関連チラシ・冊子など。



4. ホームページによる情報発信

ホームページの更新（随時）

2025年4月1日～2026年3月31日まで

ページ閲覧順位

合計	92,745 全体の100%
1 伊丹市立男女共同参画センター ここいろ	21,591 (23.28%)
2 講座・イベント 伊丹市立男女共同参画センター ここいろ	5,709 (6.16%)
3 女性のためのカウンセリング 相談室 伊丹市立男女共同参画センター ここいろ	3,599 (3.88%)
4 女性のための悩み電話相談 相談室 伊丹市立男女共同参画センター ここいろ	2,285 (2.46%)
5 相談室 伊丹市立男女共同参画センター ここいろ	1,979 (2.13%)
6 ここいろについて 伊丹市立男女共同参画センター ここいろ	2,037 (2.2%)
7 ここいろ ミモザの日 伊丹市立男女共同参画センター ここいろ	1,767 (1.91%)
8 施設案内 伊丹市立男女共同参画センター ここいろ	1,283 (1.38%)
9 男性のための悩み電話相談 相談室 伊丹市立男女共同参画センター ここいろ	1,368 (1.48%)
10 人と話すのが楽しくなるコミュニケーション講座 伊丹市立男女共同参画センター ここいろ	1,189 (1.28%)

5. SNS による情報発信

各投稿回数

Facebook

53回



LINE

43回



Instagram

53回



Ⅶ 研修

各種の研修等に参加することにより、男女共同参画センター職員としての資質の向上に努めた。

<関係機関等との連絡・調整等>

日時	内容	開催場所	参加者
7月4日	全国女性会館協議会 相互支援ネット運用訓練 情報提供「能登半島地震と女性たち：声なき声に耳を傾ける～ヒアリング調査から～」	オンライン	センター長
10月22日	令和7年度第2回県内男女共同参画センター等連絡会議	市役所1階101会議室	センター長
12月8日	全国女性会館協議会 相互支援ネット運用訓練 【情報提供】「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」の説明	オンライン	センター長
12月18日	令和7年度阪神北地域DV防止対策連絡会議	宝塚健康福祉事務所	相談担当者

<外部研修>

日時	研修目的	内容	対象者
6月19日	就労支援講座の企画のための研修	在宅ワーク&フリーランスの始め方	職員1名
7月30日	性暴力被害者の心情を理解し寄り添う	性暴力被害者のトラウマケア	全職員
8月28日	SNSを活用した行政の広報について	パッと伝わる！SNS研修	職員3名
12月2日	地域が抱える課題を整理し課題解決に向けた事業実践スキルを養う	地域における男女共同参画推進のための事業企画研修	職員1名

<内部研修>

日時	研修目的	内容	対象者
5月17日	性の2分法では決められない多様な性について知る	「女」「男」だけでない多様な性	職員2名
5月24日	日本・世界の歴史から見るリプロダクティブヘルス・ライツを学ぶ	リプロと家族	職員2名
5月31日	DVと子どもの虐待について	DVと虐待への提言	職員2名
6月7日	女性と子どもへの支援が少子高齢社会にもたらす恩恵について	少子高齢社会の鍵を握るのは女性と子どもへの支援	職員4名
6月5日	コミュニケーション・スキル習得	エモーショナル・リテラシー、リスニングブロック	職員1名
6月12日	コミュニケーション・スキル習得	境界線、他者との距離感を考える	職員1名
6月19日	コミュニケーション・スキル習得	こころとからだを使った感情表現（アクションワーク）	職員1名
6月26日	コミュニケーション・スキル習得	過去の自分との対話 内観法など	職員1名
2026年	親権に係る法改正について知る	共同親権について	職員5名+
2月4日	組織のミッションを確認する	5つの質問による自己評価	職員5名+